ときわ会 令和6年度本部研修発表 生徒が自分事として考えられる話し合い活動の実践 ~友に学ぶ。共に学ぶ~



平成18年度 宮浦中学校 中村 匡宏

多様な人々と話し合い協力すること

職場の同僚

地域の方々

家族

現在の社会において、**他者と協力しながら課題を解決していくこと は必要不可欠**である。そのため生徒たちに**円滑な話し合いのスキルを 身につけさせることは必須**である。

中学校学習指導要領 特別活動編「学級活動の内容」より

- (1) 学級や学校における生活づくりへの参画
 - ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

学級や学校における生活をよりよくするための課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践すること。

イ 学級内の組織づくりや役割の自覚

学級生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践すること。

ウ 学校における多様な集団の生活の向上

生徒会などの学級の枠を超えた多様な集団における活動や学校行事を通して 学校生活の向上を図るため、学級としての提案や取組を話し合って決めること。

スキルを高めるために行なった話し合い活動



個人集団

教師の意向に流されない話し合い

一部の生徒の考えに左右されない話 し合い

学級目標を決める際に 「どのようなクラスがいい か」「この1年でどんな ところを成長させたい か」について



互いの良さや可能性を発揮した話し合い

批判的思考力を働かせた話し合い

コンセンサスゲームを行い、それぞれの理由を個人から集団へ広げた上で 合意形成を行う。

合意形成による順位づけ

ここまで (R3年度まで) の成果



一人一人が 意見をもつ

集団で一つの ものを作り上げる

ここまで(R3年度まで)の課題



話し合うための議題を「自分のこと→自分事」と して捉えていない

話し合いで何が 解決できるのか



をきてきる。 やり方はないか

ᄔᇏᄼᆉ 浅い話し合い 深い話し合い 生徒の姿 自分事としてとらえている。 他人事として考えている。 能動的にとらえていて、話し 受動的にとらえていて、何の 合うことでどんないいことが 話し合う内容 ために話し合うか分かってい

表面的になっていて、その場 限りのものになってしまって

ない。

いる。

話し合った成果

かる。 意見を共有することで、さら に自身の考えが深まり、考え

や行動の変容につながる。

あるか、何が解決できるかわ

話し合いに主体的に参加するようにするために

友に学ぶ・共に学ぶ

自分事として捉える 目的意識をもたせる





集団としての問題を自分事として捉え、解決に向けた意思決定、合意形成のための話し合い

よりよい人間関係を育む学級経営・



授業経営の基盤

→支持的風土の醸成





ヒドゥンカリキュラム

学級活動で考える「深い学び」となるように

目的意識や問題意識を明確にし、興味をもたせて 話し合い活動に臨ませる

導入部分

発問の吟味

展開部分

思考ツールやアプリの活用

振り返りの部分

本時の学びを子どもたちの言葉で語る

「深い学び」の様相を理解している生徒の声

- ・イジリやイジメ、平和について、作者の願いについて、 みんなと話しあえて深くなった。
- ・自分と同じ意見なのに、考え方(理由)が違う人 がいてそういう人の考え方がすっごく自分の考えを深

めました。



「友に学ぶ・共に学ぶ」の場面ありましたか? 令和4年7月13日実施アンケート

何のために話し合うのか、話し合うことでどんないいことがあるのかを 生徒に実感させる。

・夢を叶えることと出会いを大切にすることがどうしてつながるのか分からなくて聞いてみたかった。グループで話し合った時その理由が分かってよかった。

「共有」のその先、「共有後」 を大切にした指導を行う。

・「みんな違ってみんないい」に「ノー」の人がいた ことに驚きだった。でも話し合って理由を聞いて納 得したし大事な考えだと思った。

共有後みんなの考えをさらに 読んで、気づいたことを再度 シェアリング ・今日の授業ではみんなの意見からナルホドと思わされた。そんな考えを根拠と理由で発表できる友達がいたので、自分も次は頑張りたい。

V

・頭の中が空っぽな時もあった。それに自分だけでは こんなにたくさんの意見は出ないから、共に学ぶ時間になった。グループでの話し合いはこれからも大 切にしたい。

「深い学び」へのいざない

目指す生徒集団

自分たちが所属する集団生活の中にある課題を 見出し、 個々人がそのことを自分事として捉えて 話し合い、解決に向かう生徒集団

学級集団

実践方法と内容

① 生徒が話し合いスキルの向上や有効性に気づく 理由

個々の意見を吸い上げ、集団として合意形成を 図るために話し合いは必要であると考えた。

方法

年間を通して上述の流れで様々な話し合い活動 を行い、よくなっていく過程を実感させる。

評価

スキルの向上や有効性の気づきを生徒の様子や 学校評価アンケートの数値で図る。

実践方法と内容

②生徒が集団の課題に気付く

理由 与えられたテーマでの話し合いではなく自分 たちの課題を見出すことが大切であると考えた。

方法

学級目標や設定した目標とのずれ=「課題」に 気付かせるようにする。

評価

課題への気づきや話し合った後の振り返りを記

述内容や学校評価アンケートの数値で図る。

実践方法と内容

③問題を自分事とする手立て

理由 生徒にとって話し合う議題の意味付けや価値付 けを行うことで自分事となるとと考えた。

方法

行事なども集団として行うことや小学校から 行ってきた話し合いに向かう姿勢を示す。

評価

… 話し合ってきた結果に対する振り返りの記述内容 で自分事として捉えているかを図る。

実践の実際

令和4年度の実践

宮浦中学校第2学年2組・・・31名での実践

年間を通して本実践について

令和4年11月27日(県中教研指定公開授業)に行う 授業で学級の実態を考え一人一人が学級目標と現在との 「ずれ」を感じた上で学級をよりよくするにはどうする か学級でのスローガンを作成し、そのスローガンに 対して自分は何ができるか記述することができる。

実践の実際

① 生徒が話し合いスキルの向上や有効性に気付く

年間を通した話し合い活動の設定

自分事として捉える ための問い掛け

個や集団の考えを 可視化するために 思考ツール



【知 技】多様な他者との協働

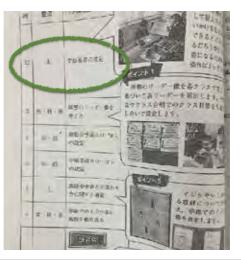
→行動の仕方を身に付ける。

【思判表】集団生活・人間関係の課題を見出す

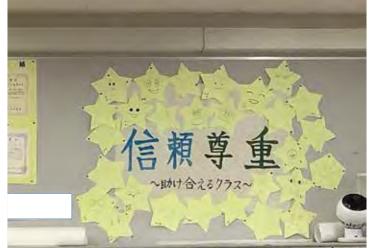
→解決に向けた合意形成・意思決定。

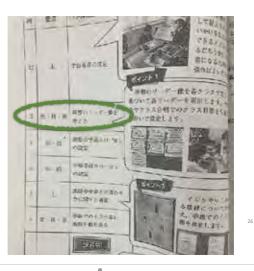
【人間性】人間としての生き方についての考えを深める

→自己実現を図ろうとする。









運動会リーダー選出に向けて

~理想のリーダー像は?~



ピラミッドチャート を活用し、各自が出した 意見で重要なものを 上位に選びます





運動会学級スローガンの設定



競技やダンスなどそれぞれ得意な人も苦 手な人もいますよね。一人一人の目的がバラバラな 状態で運動会は成功できますか?





じゃあ、それぞれの意見を座標軸にま[®] とめてみましょう









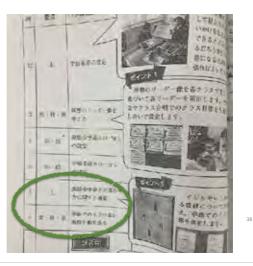


connect 福档

実践の実際

②集団の課題に気付く

3課題を自分事とする手立て



ここまでを踏まえて



学級活動、道徳など多方向からの指導を通して「自分事として捉える」

道徳…イジメ、イジリ、あおり、無関心に関わる心情面、判断力、実践意欲と態度の育成

- 「思いやり」の項目を道徳での重点指導項目に設定
- (2)6月...新潟県はいじめ見逃しゼロ強調月間 学級の基盤が形成されていく時期
- ③11月...人権週間に向けた強調期間



学活…課題を自分事としてとらえ、解決に向けた意思決定、合意形成のための話し合いスキルの育成

merate Life THE ROLL CONTRACTOR AND ADDRESS OF THE PARTY A State Total Co.

TAKE BY THE PARTITION OF THE PARTITION O

STREET, CONSTRUCTION OF THE PARTY OF THE PAR

道徳では





視点を変えて ビラミッドランキングで「あなたなら、何ができる?」 クラスで弁似した「いじかの構図」からさらなる対話を使し、自我問与のある深い学びへ



頭ではわかっていても実際は どうなのかというところを考 えます。



今回については「あなたなら何ができる? (行為)」 まで考えさせる→ここまでを学級で合意形成したい

学活で学級の実態を考える

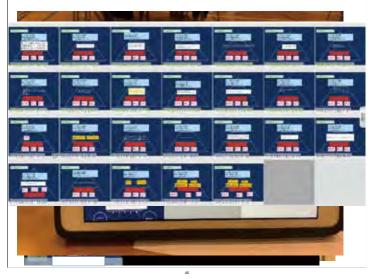


P→学級の良いところ(プラス)

M→学級で改善が必要なところ (マイナス)

→今までの関わり方で良かった具体的なエピソード(学級に関心をもつ=インタレスティング)

.



① 話し合いスキルの向上や有効性に気付かせる 成果

令和4年度学校評価アンケートより 「授業中ペアやグループで話し合う活動は好きです」 前期 後期

89.7% 93.1%

「話し合い活動で人の意見や考えを最後まで聞くこと ができた」

前期 92.1% **後期** 100%

① 話し合いスキルの向上や有効性に気付かせる 成果

令和4年度学校評価アンケートより
「話し合い活動で自分の考えが深まった」
前期
後期
96.5% 100%
「自分と違う意見があったら相手の意見の理由を

聞いたり、自分の意見を伝えたりしている」 前期 93.1% 96.5%

① 話し合いスキルの向上や有効性に気付かせる

課題 思考ツールを用いることで自分の意見や集団の意 見を可視化することは出来たが、当初タブレット 上で行うと紙で行う時よりも意見の交流が生まれ

ない場面もあった。

②集団の課題に気付かせる 成果

このかまりまたというかできます。 はない かまかい はないのではないにより、 はない はいまます はない はいまます しょうしょう



THE TOP A PART OF THE PROPERTY OF THE PART OF THE PART

Breg mitter & Meren befanderenen

② 集団での課題に気付かせる

成果 令和4年度学校評価アンケートより 「思いやりの気持ちをもって行動している」 前期 後期 91.0%

「いじめはどんなことがあってもいけないことだと思うか」

前期 93.1% **後期** 100%

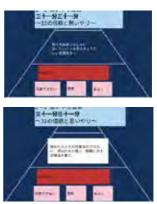
②集団の課題に気付かせる

課題 学級目標を作成後半年経ってからの実践であっ たが、夏休み前などにも行うことで継続的に行う ことでより効果があったのではないかと感じた。

3課題を自分事とする手立て

成果 生徒の記述より





-

③課題を自分事とする手立て 課題

生徒の記述より



表面的なもので終わっているものが あったため、今までの話し合いを想 起させるような個別の声がけを行う 必要があった。

53

